



北海道東川高等学校

HIGASHIKAWA HIGH SCHOOL GUIDE BOOK 2020



自分の力で
夢をつかみ取ろう!

～東川高校は全力でサポートします～

様々な学習で可能性を伸ばす

学習と資格

一人ひとりの理解度・学習の進捗状況にあわせて、きめ細かな教育活動を進めています。
また、生徒の進路希望にあわせた指導も充実。
授業はもちろん、進学講習・資格取得講座も実施し、将来へのサポートに力を入れています。
こうした取り組みが実を結び、近年では国公立大学に合格しています。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合		現代社会		数学Ⅰ		生物基礎		体育		保健		音楽Ⅰ		コミュニケーション英語Ⅰ		家庭総合		社会と情報		総合		LHR							
2年	現代文B		古典A		世界史A		数学Ⅱ		数学A		化学基礎		体育		保健		音楽Ⅱ		コミュニケーション英語Ⅱ		家庭総合		情報処理		総合		LHR			
3年	現代文B		日本史A		政治・経済		数学Ⅱ		物理基礎		地学基礎		体育		芸術		コミュニケーション英語Ⅱ		情報処理		選択A		選択B		総合		LHR			

◎3年生のA選択は、数学B・英語表現Ⅰ・子どもの発達と保育・電卓基礎計算から選択
◎3年生のB選択は、英語会話・時事問題研究・生物研究・スポーツA・現代文Aから選択
◎3年生の芸術は、音楽Ⅱ・書道Ⅰから選択
◎2・3年生の教育課程は部分的に変更になる可能性があります。

挑戦することで見えてくる、次のステップ

東川高校では、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すために様々な取り組みを行っています。



基礎基本を重視した授業展開により、基礎学力の定着を図っています。生徒は、「わかる」楽しさを知り、更に「知りたい」と感じ主体的に学んでいます。そんな声に応え、始業前と放課後の時間に「あさべん」、「ほかべん」と称し、学習スペース（図書室等）を開放しています。放課後は、部活動や講習の時間に充て、始業前の時間を有効に活用している生徒や、家より集中できる・わからない所を先生に質問できるということで利用している生徒がいます。

また、どのくらい学力が身に付いたかを実感するためにも、資格取得を推進しています。東川町からの支援で資格取得のための費用の半額が補助されます。多くの資格を取得することによって、就職・進学に向けての自信にも繋がっています。東川高校は、みなさんの進路実現のため全力でサポートします。



学習活動…さらに一歩を進めるプラスワン・プログラム

●進学講習・資格講座の実施

- 進学講習（放課後／夏期・冬期）
大学・看護・医療系学校への進学に向けたきめ細かなサポート
- 1年次の総合的な学習の時間で、全員がガイドヘルパー（全身性障害者移動介護従事者養成研修）の取得を目指します。また、希望者にはより上級の資格である「介護職員初任者研修」の講座受講と資格取得も可能です。
- 各種検定
全商ビジネス文書実務検定（旧ワープロ検定）／全商情報処理検定／全商珠算・電卓実務検定／全商英語検定／全経電卓検定／漢字検定／実用英語技能検定／硬筆・毛筆書写技能検定

※上記、全員受験する検定以外の各種検定料の半額は東川町より補助される。
例）検定料1,000円の場合は、申請により500円補助されます。

●ボランティア活動の推進

- 東川養護学校・社会福祉協議会との交流（運動会・学芸会の手伝い・地域交流会など）
- 写真甲子園サポーター
- せせらぎ水路の清掃活動

●学力向上への取り組み

基礎力診断テスト、朝学習、eラーニングほか

●インターンシップ（職場体験学習）の実施

東川町、東神楽町、旭川市計33事業所で実施（2年次6月実施）



行動、そして協力を通して磨かれる。

学校行事と 生徒会行事

東川高校では一年を通じて学校行事や生徒会行事が活発に行われています。生徒が主体的に行事に関わり、お互いに協力することで社会性を身につけます。
生徒会活動では自主的な活動内容を実現できるよう、一丸となって取り組んでいます。

4

April

入学式
宿泊研修（1年生）

5

May

前期生徒総会

6

June

インターンシップ
（2年生）
1学期期末考査

7

July

学校祭

8

August

9

September

ハーフマラソン大会
2学期中間考査



〔入学式〕



〔普通救命講習〕



〔生徒総会〕



〔宿泊研修〕





[見学旅行]



[球技大会]



[カルタ大会]

10

October

上級学校見学会
(1年生)
見学旅行 (2年生)

11

November

2学期期末考査

12

December

球技大会

1

January

スキー授業
カルタ大会

2

February

3

March

卒業式

[学校祭]





輝け！ 君の青春

今、必要とされている「人間力」。

その力を引き出し、大きく飛躍するための学ぶ姿勢を育てます。

本校は「美風慣行・自律創造」の校訓を掲げ、良い習慣の実践と積極的な発想・行動ができる生徒の育成を目指しています。1学年2クラスという小規模校ならではのきめ細かな指導により、生徒たちは自分の可能性の伸長に向けて意欲ある学校生活を送っています。進学・就職とも進路希望の100%実現という数字が、本校の充実した教育活動の成果だと考えています。

また、東川町の支援を受けての海外派遣や国際交流事業、各種資格検定・介護職関係の講習なども、本校の大きな特色となっています。世界にも視野を広げ、確実な自己実現を後押しする学校、そんな本校であなたの青春を輝かせましょう。

校訓

美風慣行 自律創造

昭和59年7月24日制定

- 1 良い気風、良い慣わし（美風）を実践し、生活そのもの（慣行）とする。
- 2 自分でやり抜く（自律）気がまえを持ち、新しい発想、豊かな創造力で、社会に貢献する人間となる。

校章



昭和26年6月8日、公募作品の中から制定。東川町の基幹産業でもある「米」という字の上に「東川」の字をあしらい、さらにその上に「高等学校」の「高」を表したものです。

東川高校は、東川町及び岡田町村の発展を担う青少年のための教育機関として開校し、現在に至っています。本校の校章は、「お米」と「教育」と岡田町村の「発展」を象徴するものとなっています。





沿革概略

- | | |
|-----------|---|
| 昭和24年 | 北海道立永山農業高等学校東川分校として開校 |
| 昭和26年 | 北海道東川高等学校独立設置認可 |
| 昭和33年 | 普通科設置認可 |
| 昭和50年 | 全日制課程2学級設置 |
| 平成16年～19年 | 日韓国際交流事業参加 |
| 平成20年 | 創立60周年記念式典挙行 |
| 平成21年 | 居宅介護従業者講座開始 |
| 平成24年 | 東川町派遣ラトビア語学研修開始(2名参加) |
| 平成25年 | 全身性障害者移動介護従業者養成研修開始 |
| 平成26年 | 介護職員初任者研修講座開始 |
| 平成27年 | 東川町派遣台湾・カナダ語学研修開始(各2名参加) |
| 平成28年 | 東川町派遣ラトビア・カナダ・台湾語学研修(各2名参加) |
| 平成29年 | 東川町派遣ラトビア・台湾語学研修(各4名参加)
文部科学省指定「国際教育に係わる研究開発学校」幼・小・中・高連携(H29～R2年度) |

制服



仲間との切磋琢磨で、友情を深める

部活動 (文化部)

本校の部活動は、中学時代までの積み重ねを活かせるものから、高校から全く新しいスタートを切れるものまで、幅の広い部があるのが特色です。あなたの力を、本校の部活動で大いに発揮させませんか？



茶華道部



本校の茶華道部員はみんな、入部したときには5分と正座のできなかった初心者ばかりです。「茶道」を堅苦しいイメージとしてとらえず、心のゆとりを取り戻す場として、身近に感じて欲しいと思います。せわしない毎日の中で、日常とは異なる時間を過ごす事は貴重なことです。最初は作法を知らなくても、静かにゆっくりおいしいお茶を一服いただく。そして作法を通して相手を思いやり、心を和らげ、人間的成長を目指しながら活動しています。



美術部



美術部では8月の高文連を目標に、クロッキーやデッサンなどで基礎画力を上げ、より自分の個性を生かせる作品を目指し制作しています。また、学校祭ではポスター作成、町民文化祭では絵を出展しています。

普段はアクリルや水彩、コピックなど好きなものを好きな時に描き、上下関係なく皆仲良く活動しています。



写真部

私たち東川高校写真部は、「未来や夢、希望を感じさせる写真」を目標に活動しています。

1年生では一眼レフカメラの基礎を学び、2年生では様々なジャンルやシーンの写真撮影に挑戦します。そして3年生では部員全員が自分の得意な分野の写真を積極的に撮影できるようになっています。

また、高文連写真研究大会や写真道展などさまざまなコンテストに出品して、毎年多くの生徒が入選しています。

これからも顧問の先生方の指導のもと、個人の心の感性を大切に、高校生の視点から捉えた写真を撮っていききたいと思っています。



吹奏楽部

平成27年度に同好会としてスタートし、翌年から部に昇格しました。発足時には楽器購入を東川町に支援していただきました。今年度は7名の新入部員を迎え、「情意投合」を目標に掲げ16名で活動中です。音楽大行進や高文連・吹奏楽コンクールの他に、地元のイベントで演奏させていただく機会も多く、日々練習に励んでいます。



ボランティア部

私たちボランティア部は校内の取り組みだけでなく、東川養護学校をはじめ様々な学校外の機関や団体と連携してボランティア活動を行っています。「人の喜びを私たちの喜びとする」をモットーに、誰かのお役に立つことで自分の視野を広げ、心を豊かにする、そんな取り組みを年間通して行っています。



仲間との切磋琢磨で、友情を深める

部活動 (運動部)

東川高校の運動部は、環境に恵まれた中で活動することができます。体育館やグラウンド、テニスコートはもちろん、水泳プールやクロスカントリーコースを存分に使用できるのは、本校ならではの特色です。



ソフトテニス部

こんにちは、ソフトテニス部です。よりよい人間成長を目指し、団体戦全道大会出場を目標に練習に取り組んでいます。初心者・経験者、共に3年間でどこまでやれるかに挑戦しています。コート3面に対し、男子2人・女子2人で活動しています。



バドミントン部

バドミントン部は、週4~5回で活動しています。ただ今、人数が大変少なく、計3人となっています。しかし、その分たくさん羽根を打つことが出来ます。大会にも出場することが出来ますので、初心者、経験者大歓迎です。興味のある方はどんどん入部してください。





野球部

「全員野球(ぜんいんやきゅう)」でいい人間関係、いいチームワークを作る。お互い励ましあい、協力し、時には叱咤激励しあう中で、どの高校にも負けない最高の「仲間」(チームワーク)をつくることを最大の目標にしています。

「練習常善(れんしゅうじょうぜん)」毎日の練習がすべてであり、毎日の練習に参加することが、心と肉体の鍛錬となります。東川高校の部活動の中で最も練習の豊富なのが、「野球部」です。毎日のつらく、苦しい練習を乗り越えてこそ、人生の荒波に立ち向かう「心の力」が培われると考えます。

「野神見守(やしんけんしゅ)」一生懸命努力する者には「野球の神様」が見守っています。



水泳部

水泳部は、活動目標「シーズン中に四泳法をマスターし、技術力の向上を目指す。」「1人でも多く全道大会に出られるように日常の練習を頑張る。」の下、活動しています。

初心者から始めている生徒がたくさんいます。水に入れる時期は少ないですが、楽しんで活動しています。



クロスカントリースキー部

クロスカントリースキー部は自強不息(じきょうふききょう)の部訓のもと、日々練習を行っています。

旭岳の麓という立地を活かし、恵まれた環境のなかで全国優勝を目標に競技者として全力で取り組んでいます。



女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は、平成29年に同好会として発足、翌年には部に昇格し地区大会ベスト8を目標に日々練習しています。日常の練習、多くの学校との練習試合、各種の大会を通して成長する毎日です。また、「応援されるチーム・人」をテーマに、バスケットボールに真剣に取り組みそして自分自身と向き合うことのできる環境を大切にしています。



ネイティブスピーカーだから、できること。

英語教育と 国際教育

東川高校では英語教育への取組に力を入れています。
これからの時代には、生きた英語力を身につけることで活躍する場が大きく広がります。
本校で語学力を磨き、大きな世界へと飛躍をしてください。

生きた英語教育の導入

東川高校は、文部科学省指定「研究開発学校」(国際教育 Globe) の指定を受けています。

東川高校の英語教育

これからの時代は急速に AI (人工知能) 化が進み、多くの仕事が AI に取って代わられると言われています。そんな時代だからこそ、「人間力」が求められます。世界の人と向き合うことで、人間としての力を高めていくことができるのです。

他国の事を知り、お互いに理解し合うための手段として共通の言語が必要となります。東川高校は、英語教育に力を入れて取り組んでいます。

国際教育 Globe (文部科学省指定 研究開発学校)

東川町は、幼稚園から高校までの一体的な教育プログラムの中で「日本や地域文化理解」と「多様な文化理解」、「英語力」の向上を目指します。本校では、中学校までの国際教育を一層発展させ、世界に目を向け、広い社会で活躍できる生徒の育成に取り組んでいます。

Globeの概要

- ① 東川町立幼稚園…人とかかわり外国語に慣れ親しむ
- ② 東川町立小学校…コミュニケーション能力の素地の育成、初歩的な英語の運用能力の育成、外国語活動・英語科のカリキュラム編成
- ③ 東川中学校…コミュニケーション能力の基礎の育成、初歩的な英語の運用能力の育成、外国語活動・英語科のカリキュラム編成
- ④ 東川高等学校…コミュニケーション能力の育成、地域におけるネイティブスピーカーの有効利用により、人と人との相互理解・相互交流を基本とした活動
- ⑤ 将来…国際社会で活躍する人材の育成

異文化理解

東川町には、1年を通して、様々な国から留学生が訪れます。授業・生徒会・委員会などを通じ、留学生との交流が盛んに行われています。また、東川高校は、台湾・高雄市「樹人醫護管理專科學校」と学術・教育の発展・文化の交流及び親善を目的で提携を結んでいます。

さらに、世界21ヶ国の高校生と写真フェスティバルを通して交流しています。

留学生との交流

1. ラトビア 2. 台湾 3. フィンランド
4. 高校生国際交流写真フェスティバル



短期留学で、語学力を磨く

海外留学

東川高校では毎年、多くの生徒が海外短期留学を体験しています。海外での生活で語学力を伸ばすのはもちろんのこと、異文化に触れ、さらに日本の文化を紹介することで交流を深めます。東川町からの支援もあり、意欲のある生徒のサポートも充実しています。

3年B組 高坂 実紗紀 台湾へ留学に行って

私は台湾に三週間留学させていただき、とても多くのことを学ぶことができました。まず、短い期間でしたが中国語を少し教えていただきました。日本語にはない発音が多くてとても難しかったですが、先生が優しく教えてくれたので少し話せるようになりました。日本語と同じ意味の漢字もあれば全く違う意味のもの、日本では見たことのない漢字などもありました。

楽しかったことは、様々な学年の人たちと一緒に授業を受けたことです。中でも印象に残ったのは、一年生と浴衣の着付けを学んだことです。日本人でもうまく着付けができない人が多い一方で樹人の生徒さんはしっかり習得していて、私たちにも優しく丁寧に教えてくれました。授業を楽しみながらできた大きな理由は、日本語学科の先生方や生徒の皆さんがとても優しく、たくさん日本語で話しかけてきてくれたからです。最初はすごく不安で緊張をしていましたが、皆さんのお陰で楽しかった思い出がたくさんできました。

台湾の皆さんはとても優しく、私が困っているときには声をかけてくれてすぐに助けてくれました。買い物のときなどは、私たちの日本語に気づいてお店の人が「ありがとう」と言ってくれて気を遣ってくれたことがとても嬉しかったです。言葉が通じなくても、台湾の人たちに多くのことを教わったり、助けてもらったりしました。

今回の留学を通して、海外の人と交流することで私自身の考え方も変わりました。自分の視野が広がり、日本のいいところ、日本とは違うところ、こうなったらいいなと思うことなどに多く気づくことができました。最初は怖くても慣れていくと楽しむことができるので、これからも様々なことに挑戦していこうと思えるようになりました。

最後に、今回の留学を支えてくれた先生、樹人の生徒や職員の皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

3年A組 北村 海吏 ラトビアで学んだこと

約3週間のラトビア海外派遣事業を通して、私が学んだことについて報告します。

1つは、積極的に話しかけることの重要性です。ホームステイ先では言語の違いもあって自分の考えを伝えることが難しく、最初は自分からはあまり話しかけられませんでした。私が打ち解けることができたのは、ホストファミリーが積極的に話しかけてくれたので、自分も間違いを恐れずに応えることができたからです。間違いを恐れずに積極的に話しかけることはコミュニケーションをとる上でとても重要でした。

ラトビアにいる間は現地の高校に通って授業を受けました。授業ではまず私たちが英語で日本について発表をしました。発表中、学校の生徒達は相槌もうたずに黙って座っていました。話が通じないのか、あまり面白くないのかと心配になりましたが、そうではなく、ラトビアでは発表や授業で相槌をうつ習慣がないことや、初対面の私たちに生徒達も緊張しているということを後で教えてもらいました。自分より少し大人びたような雰囲気から、ラトビアの皆さんは私たちのように緊張したりはしないと決めつけていましたが、先入観で人を見ないようにするべきだと感じました。

言葉や文化、習慣など、日本とラトビアの異なる点はいくつもありますが、共通する点も多くあります。それは一般的なことであったり、個人的なことであったりと様々ですが、違いだけではなく共通する点を理解することで、コミュニケーションが円滑になります。違いを知ると相手に話しかけやすくなり、共通点を知るともっと話しかけやすくなります。ラトビア派遣は私の視野を広げてくれるとても良い機会でした。

今回の派遣では、私を支えて下さった皆さんにとっても感謝しています。ラトビアの魅力を知ったことでラトビアが大好きになり、またラトビアに行きたいと心から思うようになりました。



TEL. 0166-82-2534 · 2590 FAX. 0166-82-2534



